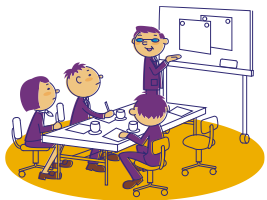


私たちの会の目的です

- 1) 認知症を介護する家族が、介護の悩みを共有し、支え合い介護者家族の生活が、継続的に支えられように努めます。
- 2) 介護の悩みを軽減するために、専門職から、認知症を学ぶ場を設け、これからの介護に活かせるように努めます。

こんな活動をしています

1、専門講師による学習会を年1回程度実施



～参加者の声～
今回は「認知症総合事業」へ移行の話でしたが、これまでも「後見人制度」や「相続」の話など、参考になりました。

2、「認知症を理解し地域で支える会」の医療・介護専門家を交えた、仲間との情報交流・相談会を年3回程度実施

～参加者の声～
家族の認知症で色々な苦労をされている方々のお話を聞いた事で、「あー同じだあ」と共感できる事がたくさんありました。1人ではないんだなと思い、参加して良かったです。

～参加者の声～
何もわからずとまどいの中で介護してきたので色々な角度からのお話やそれぞれの悩みが聞けて、有意義な2時間でした。ありがとうございました。

※個人の秘密は厳守します。
※個人情報保護のため会話の録音はできません。

こんな活動をしています ～その2～

3、仲間との交流会

「仲間がほしい」
「悩みを聞いてほしい」
「情報交換をしたい」



- ☆ 認知症の人を介護している家族が定期的に集まり、近況報告や相談、情報交流などを行っています。
- ☆ 交流会の間の出入りは自由です。
- ☆ 介護経験者や、時には専門職からのアドバイスがもらえます。
- ☆ 介護を始めたばかりの方から、介護を卒業された方、自宅介護をされている方から、施設に入所された方まで、色々な立場の方が参加されています。



～参加者の声～
初めて参加させていただいて同じ思いをされている方がいらっしゃるということが分かり気持ちが楽になりました。

第1会場:クロスパル高槻(JR高槻駅南 市民交流センター)
又は、高槻ライフケア協会 あすなる
高槻市日吉台一番町24-28(電話:072-668-3486)
毎月第3火曜日13:00～15:00
参加費100円

第2会場:高槻けやきの郷
高槻市番田1-60-1(電話:072-662-5888)
毎月第4木曜日13:30～15:30
参加費100円

ひとりで悩まないで！

本人:自分がこの先どうなっていくのか不安な気持ち。役に立たない人間のように思われているのではという屈辱感。もの忘れや判断力が低下しても自分は変わっていないことや、心は生きていることを、解って欲しい。

家族:介護している家族は、毎日つぎつぎに起こる介護問題に、悩みながら本人と関わっている。かかりつけ医院、ケアマネージャ、ケースワーカーに、相談したくても現状は24時間対応ではなく、特に緊急事態の場合などは、介護している家族の「安心」に对应されていない。24時間365日、夜間でも電話1本で相談ができ、一時預かりやヘルプが受けられる介護支援システムや悩みを共有出来る場が欲しい。

家族の接し方10カ条

- 1.「顔なじみ 落ち着き与える 安心感」
- 2.「意に添って ころ受け止め 温かく」
- 3.「怒らずに 相手に合わせる ゆとり持つ」
- 4.「理屈より 気持ちを通わせ 納得を」
- 5.「本人を 生きいきさせる よい刺激」
- 6.「寝たきりや 孤独にしない 気づかいを」
- 7.「プライドや プライバシーの 尊重を」
- 8.「本人の 過去の体験 大切に」
- 9.「環境の 急変避けて 安住感」
- 10.「事故防ぐ 細かな工夫 気配りを」



(公財)認知症予防財団資料から引用させていただきました。

同財団は、毎日新聞創刊120周年記念事業として1990年に設立。以来、認知症の予防・治療に関する調査・研究や介護家族への支援活動を続けています。

認知症家族の会 ハナミズキ

認知症介護を楽にするために、一人で悩まず、どんなことでも、お気軽にご相談下さい。日頃の介護の不安や悩みを解消しませんか？



【 会 員 】

認知症本人・介護者家族だけでなく、医師を含む医療関係者、介護職及び認知症介護に関心のある方

【お問い合わせ先】

認知症家族の会ハナミズキ
代表:竹中邦雄
TEL 080-6220-3984

高槻北地域包括支援センター
高槻市大字原112番地
TEL 072-687-8010